

## 全国銀行協会の低炭素社会実行計画

		計画の内容
1. 国内 の企業活 動におけ る2020年 の削減目 標	目標水準	2020年度における電力使用原単位を2009年度比で10.5%減とする（電力使用量／延べ床面積）
	目標設定の根拠	銀行業界のエネルギー使用の中心を占める電力使用の削減を目指す。電力使用量削減の過去の推移から推定される今後の削減余地のみならず、そこからさらに最大限の努力を果たすべく、省エネ法の努力目標をも参考に導出した。
2. 主体間連携の強化 （低炭素製品・サービスの普及を通じた2020年時点の削減）		<p>可能な範囲で以下の取組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調温度緩和の取組み</li> <li>・ 各種サービスにおける紙の使用削減等の取組み</li> <li>・ 個人向けの環境配慮型商品・サービス（預金・ローン等）の提供</li> <li>・ 環境配慮型経営を実践する事業者を支援するための環境配慮型融資等の推進</li> </ul>
3. 国際貢献の推進 （省エネ技術の普及などによる2020年時点の海外での削減）		<p>可能な範囲で以下の取組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国外の再生可能エネルギー開発等の環境関連プロジェクトにおける融資やプロジェクトファイナンス等を通じた支援</li> <li>・ プロジェクトファイナンス等に参加する際に、プロジェクトが地域社会や自然環境に与える影響への配慮の推進</li> </ul>
4. 革新的技術の開発 （中長期の取組み）		特になし